

1. 評価結果概要表

評価確定日 平成20年 10月 28日

【評価実施概要】

事業所番号	2276400146
法人名	有限会社 政経
事業所名	グループホーム 袋井やすらぎの家
所在地 (電話番号)	静岡県袋井市木原439-4 0538-44-6500
評価機関名	セリオコーポレーション有限公司
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町 4番1号
訪問調査日	平成20年9月8日

【情報提供票より】(平成20年8月25日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 15 年 5 月 15 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	20 人	常勤	19 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 16.5

(2)建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	鉄骨	造り
	3 階建ての	1 階 ~ 3 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	47,000 円	その他の経費(月額)	13,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(200000 円)	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1500 円	

(4)利用者の概要(平成8月25日現在)

利用者人数	25 名	男性	8 名	女性	17 名
要介護1	8 名	要介護2	5 名		
要介護3	8 名	要介護4	2 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82 歳	最低	60 歳	最高	94 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	永田医院・消化器医院、すずき歯科医院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

袋井市郊外の広々とした田園地帯に立地し、ホーム内も清潔でゆったりとして明るい雰囲気のあるホームである。館長や職員の交代もありやや不安定な時期もあったが、何とかホーム運営を立て直そうと熱意をもって取り組んでいる新館長の下、ホーム理念「自由にありのままに、居心地のよいやすらぎの家」の実践に取り組み、職員と利用者の明るい関係が窺えるホームである。新体制構築のためにも、ホーム内の職員間意思疎通の仕組み、地域との交流関係作り、外部評価・自己評価の全職員での取り組みによる個人やホームとしての課題への取り組みなどが望まれる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	館長・職員の交代により具体的な改善への取り組みは確認出来なかった。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	各ユニットの状況を確認し館長がとりまとめており、全職員での取り組みには至っていない。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	平成18年度に一度開催されたがその後の開催は行われていない。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	相談窓口は重要事項説明書に明示され、ホーム内にも窓口を掲示している。家族の来訪頻度は高く、その際の面談時に健康状態・近況や金銭管理報告・今後の予定など報告をしている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	お祭りの際に山車が立ち寄ったり、保育園の園児や小学校の子供たちが慰問に訪れたり、散歩の際の挨拶など交流はあるが、自治会や地域活動への参加による交流までには至っていない。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時にホーム独自の理念「自由にありのままに、居心地のよいやすらぎの家」を作りホーム内に掲示している。	○	従来のグループホームの基本方針「家庭的な環境の下で」が「家庭的な環境と地域住民との交流の下で」へ改められたことによりその役割を果たすための課題も理念に組み入れる取り組みが望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に基づく日々のケアは行われているが、職員間での意思疎通や理念実現のための具体的な話し合いの場を設定していないため、職員間における理念の捉えられ方に共有化がみられなかった。	○	理念実現に向けた具体的な話し合いや行動を職員間で共有し、ホーム内での意思疎通を図るための仕組み作りが望まれる。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	お祭りの際に山車が立ち寄ったり、保育園の園児や小学校の子供たちが慰問に訪れたり、散歩の際の挨拶など近所の人たちとの交流はあるが、自治会や地域活動への参加による交流までには至っていない。	○	自治会や地域活動への参加や、近隣の人たちを含めたホーム行事を行うなど地元の人々との積極的な関係作りが望まれる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	館長・職員の交代により具体的な改善への取り組みは確認出来ず、自己評価も各ユニットの状況を確認し、館長がとりまとめていた。	○	外部評価、自己評価をホームの質の確保・向上へつなげる最大の機会として活用し、個人やホーム課題の設定に利用するなど全職員一体となった取り組みを行うことが望まれる。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	平成18年度に一度開催されたがその後の開催は行われていない。	○	ホーム運営の課題解決や、地域との協力関係・家族との信頼関係を築くために、関係者との話し合いの場として多くのホームが有効に活用している運営推進会議の推進が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	時折の挨拶や、事故報告、利用者や事業所としての相談などを通して関係作りを行っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪頻度は高く、その際の面談時に健康状態・近況や金銭管理報告・今後の予定など報告をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談窓口は重要事項説明書に明示され、ホーム内にも窓口を掲示している。面会時の家族との対話や電話連絡などで意見・要望等を確認し日々のケアに活かしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者への影響を少なくするため、職員間のユニット異動は1名を基本とし、周囲の職員がフォローする体制を敷いている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時や経験期間に応じた社内の研修体制はあるが、館長の交代もあり、まだ系統的な研修計画を確立するまでには至っていない。	○	社内研修体制の他、自己評価による個人の課題設定など、人材育成のために職員と十分話し合いながら、できる範囲の年間計画を策定する工夫が望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	系列他ホームとの交流の機会はあるが具体的な交流には至っていない。	○	他のグループホームを見ることにより多くの気づきを感じ取れ、また交流によってホームの中で行き詰まったときに他の視点からのアドバイスを得ることも出来るので職員レベルでの相互訪問の機会を作る取り組みが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望の家族や本人に見学してもらい、ホームの雰囲気や声かけを重視した支援の説明をして、利用者と職員が少しずつ馴染みの関係になり、安心して生活できるように家族と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者個々の状態を把握しており、本人の自由意志を尊重した関係を築いている。日々の生活の中で掃除、花壇の水遣り、食器拭き等得意分野で力を発揮している。職員は利用者の話を傾聴するようにして、本人の思いを共にし、笑顔で見守っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族との会話や利用者と共に暮らす生活の中で、行動や表情から希望や意向を把握するように努めている。本人の視点に立って気持ちを満たす工夫をし、日頃の介護・介助に当たっている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントを基に本人や家族の要望を聞いて、日々の気づきや問題点を反映した長期・短期の目標を明確にした介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の心身に変化や希望が生じた場合はその都度見直しを行い、また退院時などの場合も適宜見直しを行っている。定期的なモニタリングにより、3ヶ月ごとに計画の見直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の状況に応じて、通院・外出介助・同行支援などの必要な支援には柔軟に対応し、個々の満足度を高めるよう努力している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を確認し、これまでのかかりつけ医の受診ができるように支援している。希望により協力医療機関にて受診できる体制もある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合における指針は作成されていないが、利用者の状態に応じての話し合いは行っている。	○	終末期に向けた対応について、法人本部の協力を得ながらホーム内での基本指針や対応マニュアルの作成が望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の羞恥心への配慮や、プライバシーを尊重し、個々に合わせた言葉掛けや対応を行っている。記録書類は事務室に保管され、個人情報を守られているが、面会簿や排泄管理表の置く場所にプライバシーを損ねる状況が見られた。	○	排泄管理表の置かれている場所の工夫や、面会簿は一覧記名でなく個別記入で意見・要望等書ける様式にするなどプライバシーや個人情報保護の取り組みが望まれる。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者一人ひとりの意思を大切にして、表情等観察しながら個別に支援をしている。出来ること出来ないことを把握し、できるだけ見守り、声をかけ、励まししながら、その人らしく自由に過ごせるようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	平日の週6日、昼食・夕食は給食を利用しているが、盛り付け・片づけ・食器拭き等手伝ってもらっている。週1日、日曜日はホーム内で職員の作る食事の、いつもと違った味付けを利用者は楽しみにしている。介助の必要な方や時間のかかる人は職員が支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴はユニット毎に週2回と決めているが、利用者の状態により日をずらして対応できるように配慮している。入浴をしたがらない方には、時間をおいてから声掛けをしたりして、タイミングをはかるように工夫している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	草取りや食器拭きをお願いしたり、職員と一緒に折り紙やぬり絵・読書・テレビを見たりと、役割や楽しみごとを活かせるように、職員は見守り支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節を感じながらの散歩や、玄関前のベンチで外気浴を楽しんでいる。歩行が困難な方には車椅子を使って外出できるように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や日中の玄関の鍵はかけていない。職員は利用者の様子を把握しながら見守りを行っている。車椅子の方はエレベーターで移動できるようになっている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時等の避難訓練の実施はしていない。また地域への協力依頼などの働きかけも十分とは言えない。事故対策マニュアルの掲示や防火管理者の所定の講習は終了している。	○	消防署に相談して、利用者の参加する定期的な防火・避難訓練の実施や運営推進会議を通じて地域自治会や近隣住民との協力関係作りなどへの取り組みが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	平日週6日、昼食・夕食は給食を利用している。一人ひとりの食事摂取量の記録はあるが、水分摂取量の記録はない。	○	定期的に管理栄養士や保健士などの専門家による摂取カロリーや栄養バランスの確認や一日の水分摂取量の記録が望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下や居間の壁に写真を掲示したり、ぬり絵や折り紙などの創作品が飾りつけられてあった。清潔に保たれた共用空間はゆとりがあり、窓も開けられ、居心地よく過ごせるよう配慮されている。テレビの前にはソファが置かれ、利用者は自由にゆったりとくつろいでいた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族の希望に添って相談しながら、利用者の気持ちや立場に立った様々な状況に対応している。思い出深い写真や使い慣れたタンス、最も大切なご主人の遺骨と一緒に納骨の日まで生活している利用者もいる。それぞれが安心して過ごせるように配慮している。		